



2021年11月8日

各位

会社名 株式会社レオパレス21
 代表者名 代表取締役社長 宮尾 文也
 (コード番号 8848 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 経営企画部長 竹倉 慎二
 (TEL 050-2016-2907)

業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第2四半期連結会計期間において、特別利益を計上するとともに、2021年11月8日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 修正の内容

【連結】

2022年3月期 第2四半期（累計） 業績予想数値の修正（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	198,000	△7,400	△9,700	△11,500	△34.97
今回修正 (B)	199,600	800	△1,300	600	1.82
増減額 (B-A)	1,600	8,200	8,400	12,100	
増減率 (%)	0.8	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期)	208,647	△12,616	△12,854	△17,571	△71.95

2022年3月期 通期 業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	402,900	2,000	△2,900	△5,600	△17.03
今回修正予想 (B)	400,600	2,000	△2,900	△1,500	△4.56
増減額 (B-A)	△2,300	0	0	4,100	
増減率 (%)	△0.6	0.0	0.0	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	408,959	△29,182	△34,170	△23,680	△84.88

【個別】

2022年3月期 第2四半期（累計） 業績予想数値の修正（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	190,300	△9,900	△10,900	△33.15
今回修正（B）	192,200	△1,700	1,400	4.26
増減額（B－A）	1,900	8,200	12,300	
増減率（%）	1.0	－	－	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2021年3月期）	199,302	△13,249	△18,008	△73.73

2022年3月期 通期 業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	387,300	△2,900	△4,100	△12.47
今回修正予想（B）	386,200	△2,800	300	0.91
増減額（B－A）	△1,100	100	4,400	
増減率（%）	△0.3	－	－	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	392,513	△29,005	△18,685	△66.97

（2）2022年3月期 第2四半期（累計） 業績予想の修正理由

当社は、2021年5月14日に公表した事業計画に則り、抜本的構造改革の継続と入居率の向上に取り組んでおります。

抜本的構造改革として前連結会計年度から継続している全ての費用の見直しと削減による効果の顕在化が進んでおり、2022年3月期第2四半期（累計）で売上原価は空室損失引当金の25億円の戻入れ等により計画比31億円減少、販売費及び一般管理費は計画比36億円の減少となりました。また、賃貸事業における入居率においても、2022年3月期第2四半期（累計）の平均入居率で計画を0.21ポイント上回ることとなりました。事業計画における各取組みが計画以上の成果を残したことにより、業績予想を修正しました。

また、上記に加え特別利益の計上（後述）により四半期純利益が改善しております。

（3）2022年3月期 通期 業績予想の修正理由

2022年3月期 通期業績においては、2022年3月期 第2四半期（累計）の修正理由の影響が一部継続すると見込まれる一方で、コロナ影響により家賃単価の下落が続いたことや関係会社の減収が見込まれることから、連結および個別の2022年3月期通期の業績予想を修正しました。

（注）上記の業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる場合があることにご留意下さい。

2. 特別利益の計上について

当社は、2022年3月期第2四半期連結会計期間において、一括発注や工法変更により工事単価が低減したこと等に伴い、補修工事関連損失引当金戻入額 3,326 百万円を特別利益に計上する見込みとなりました。

以上